

<研究名称>

プラーク性状に基づいた内頸動脈軽度狭窄症（50%未満）の予後と外科治療の意義

<研究申請者>

脳神経外科 瀧澤 克己

<研究期間>

平成 29 年 1 月 1 日～平成 33 年 12 月 31 日

<研究の目的・意義>

軽度（50%未満）の症候性内頸動脈狭窄症の症例を対象として、以下を目的にする。

- 1) 症候性軽度（50%未満）の内頸動脈狭窄症における発症転機を明らかとする。
- 2) 症候性軽度（50%未満）の内頸動脈狭窄症における best medical treatment 不応例の頻度を明らかとする。
- 3) best medical treatment 不応の症候性軽度（50%未満）の内頸動脈狭窄症における臨床的特徴を明らかとする。
- 4) best medical treatment 不応の症候性軽度（50%未満）に対する CEA の効果を明らかとする。

<実施内容（方法）・危険性（副作用）等>

対象患者は、同側の TIA・脳梗塞、一過性黒内障などで発症した軽度（50%未満）の症候性内頸動脈狭窄症の症例を対象とする。

研究デザイン：前向き多施設共同観察研究

<実施責任者・実施に関わる者の氏名>

責任者 脳神経外科 瀧澤 克己

<倫理上問題になると考えられる事項、その他特記事項>

本研究に関与する全ての者は「世界医師会ヘルシンキ宣言」及び「臨床研究に関する倫理指針」に従う。

本研究に携わる関係者は患者の個人情報保護に最大限の努力を払う。各患者に識別番号を付与し患者を特定できる情報を記載しない。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 脳神経外科 瀧澤 克己

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648